

2年生 段階別の教科アドバイスについて（進研模試 学習到達ゾーン別）

- ①S₁~S₂層向け
- ②S₃~A₁層向け
- ③その他の層向け

国語	現代文	<p>①東京大学、京都大学、名古屋大学の過去問を解き、減点されない記述内容を作ることができるようにしましょう。</p> <p>②センター試験や金沢大学、岐阜大学の過去問を解き、読解力や記述力を身につけましょう。</p> <p>③1年生で受けた進研模試を解き直すことで、読解力や記述力を身につけましょう。</p>
	古文	<p>①東京大学、京都大学、名古屋大学の過去問を解き、語彙力と読解力を身につけましょう。</p> <p>②センター試験や金沢大学、岐阜大学の過去問を解き、語彙力、読解力、記述力を身につけましょう。</p> <p>③体系古典文法を利用して、今のうちに用言と助動詞を完璧にマスターしておきましょう。</p>
	漢文	<p>①東京大学、京都大学、名古屋大学の過去問を解き、語彙力と読解力を身につけましょう。</p> <p>②センター試験や金沢大学、岐阜大学の過去問を解き、語彙力、読解力、記述力を身につけましょう。</p> <p>③漢文必携チェックノートを利用して、今のうちに重要句形を完璧にマスターしておきましょう。</p>
数学		<p>1年生の既習内容では、『数学Aの整数の性質』『数学IIの図形と性質』の演習が少なかったと思います。まず、それらを強化しましょう。さらに数学IIの第2章についても同様です。</p> <p>苦手な範囲があれば、この機会に丁寧に復習しておきましょう。</p> <p>①チャートの重要例題まで含め、さらにEXERCISESまで解いてみよう。また、模試(特に駿台模試)の解き直し、手持ちの参考書や土曜講座のプリントなどで実力をつけていってください。</p> <p>②4 STEPのB問題や例題は大事ですので、確実にしましょう。チャートの重要例題まで理解しましょう。また、模試の解き直し、手持ちの参考書や土曜講座のプリントなどで実力をつけていってください。</p> <p>③まずは教科書の例題・応用例題は、何も見ずにさらさらと解けるようにしましょう。チャートの基本例題も同様に解けるように練習しましょう。</p>

英語	<p>①課題の内容を確実に身につける。 1年次の模試の解き直し。（特に駿台模試） 構文150とシスタンの全範囲をできるだけ覚える。 語彙力を強化するとともに、文構造を意識して英文を読んでください。英文を見て5文型のどれにあたるか瞬時に見抜けるようにしていきましょう。</p> <p>②課題の内容を確実に身につける。 1年次の模試の解き直し。 構文150とシスタンのStage1・2・3・5をできるだけ覚える。 一番時間のかかる語彙力強化を今のうちにやっておこう。後から大きく伸ばすために必須です。</p> <p>③課題の内容を確実に身につける。 =意味のある勉強=次につながる勉強の徹底 1年次の模試の解き直し。 構文150とシスタンのStage1・2・3・5をできるだけ覚える。 英語が苦手な原因のほとんどは語彙力不足です。時間の取れる今のうちに覚えましょう。</p>
理科	<p>生物基礎 文系及び理系生物選択者へ 2年生では生物基礎の授業がありません。リードαの基礎CHECKや基本例題を解きなおして、基本的な知識を忘れないようにしましょう。</p>
	<p>化学基礎 まだ授業をしていないため、中学校の時の化学分野をもう一度復習しておいてください。余裕がある人は化学基礎の教科書を読んで予習しておくとうよいです。なお、化学基礎では計算問題も出題されるので、今のうちに計算力をつけておきましょう！理系の人は、教科書p85までの予習（読んで太字の用語を確認まで）を進めて、セミナーのプロセス・ドリル・基本例題で確認するとよいです。</p>
	<p>地学基礎 化学基礎同様まだ授業開始前ですが、入試は中学校既習範囲からも出題されるため、特に苦手な生徒が多いであろう「天文」分野の復習をしておくことを勧めます。それに加えて、地学基礎の教科書を中心に、P.36「地震」分野までの予習、基本マスターで知識の確認をして下さい。分からない箇所を抜き出しておくなどしておいて下さい。</p>

	物理基礎	物理基礎の授業はまだ行われていません。教科書を読み進めておいてください。また書店には参考書(問題集ではない)が置かれていますので、そういったものを利用するのもよいでしょう。問題集はまず、『らくらくマスター』、『セミナー』(学校で購入済)で基本を定着させてから、『良問の風』『名問の森』などにチャレンジするのが良いでしょう。レベルとしては、『良問の風』で名古屋大学入試まで対応できます。
地歴公民	日本史	①語句理解だけでなく、論述力、資料の読み取り、分析力が必要となります。語句の暗記は短期間でできますが、論述力の習得には時間がかかります。多くの資料に触れ、時代の流れやテーマ毎で要約するなどすると良いでしょう。 ②・③語句理解が必須です。語句の意味が説明できるようにしましょう。資料集に載っている基礎的な資料にもしっかりと目を通しておきましょう。ゼミナールを定期的に繰り返す、忘れた語句を一問一答で確認するなど、毎日コツコツ知識を増やしていきましょう。
	世界史	【①②③共通】 ・『要点マスター世界史確認問題集』を使用するなどして既習範囲の「基本用語」を徹底的に確認しましょう。完了後、今後の学習範囲の教科書をどんどん読み進めましょう(漫然と読むのではなく、因果関係や疑問点を大切に！1回目は、マーカーを使わず読むこと。最低3回は読むこと。進度の目安としては、例年、GW頃までに、第1章(教科書p45)まで進みます。)
	地理	①共通テストで9割以上をめざしましょう。基本的な語句は当然、資料を活用した思考力を問う問題が多く出題されます。3年生で扱う地誌で復習ができます。2年生の範囲を確実なものとしましょう。 ②・③場所と語句をしっかりと押さえましょう。地理の問題は思考力が問うことが多いですが、基本ができていれば対処できます。基本は場所と教科書の語句です。地図帳で場所を確認する、資料が何を示しているのかを考える習慣を身に付けましょう。 ①・②・③共通 教科書の内容を資料集、ニューコンパスで確認し、地図帳で場所を確認する。これを何度も繰り返しましょう。
	現代社会	①・②・③1年生で学んだことを忘れることのないように、定期的に復習をしましょう。